

かりがね

NO.357 [季刊] かりがね

Summer



共同生活サポートセンターの利用者さんは、地域の中にある一戸建ての家に住み、共同生活を送っています。気軽に遊びにきて下さい。

発行人 ● 社会福祉法人かりがね福祉会



ライフステージかりがね 改築竣工式典行われる

ライフステージかりがねの改築竣工式典が、4月14日(土)に行われました。式典には、行政や地元自治会、隣組の皆さま、設計・施工事業者、上小地区を中心とした障がい福祉サービス事業所、家族会役員、法人役員、利用者代表の総勢50数名が、新築された建物の会議室に集いました。初代園長の岩見太市夫妻や前園長の樋口俊文さんも姿を見せていただきました。

宮下博一理事長のあいさつに続き、長野県上田保健福祉事務所企画幹兼福祉課長の関由佳史様、上田市役所真田自治センター健康福祉課課長補佐の小宮山治仁様、長野県知的障害福祉協会会長の宮下智様からの心温まるご祝辞をいただきました。



その後、施工に当たった(株)岡谷組代表取締役の野口行敏様、設計に当たった(株)莫設計同人チーフマネージャーの伊藤嘉英様に



感謝状の贈呈があり、続いて利用者代表の前島紳一さんのあいさつと進み、式典は終了しました。

ご来賓の皆さまには新棟の見学をしていただき、その後、コミュニティカフェにて簡素な祝宴の場を設けさせていただきました。利用者さんには、祝宴が終わった後に、同じコミュニティカフェにてみんなで竣工を祝いました。ライフステージかりがね以外の事業所にも特製のお菓子が配られ、利用者さんとともに改築竣工を祝いました。

一筆啓上

人のつながりを続けて

「生きようという背景にあったのは、人のつながりであり」、「人はひとりでは絶対に生きられない」、「人は人とのつながりで生きている」という実感でした。と、かりがね学園(現、ライフステージかりがね) 初代園長、岩見太市さんは、改築記念講演会で「人のつながり」の大切さを語りました▼かりがね福祉会の歴史は、まさに人と人とのつながりでした。今から三十五年ほど前、京都府出身の岩見さんが会員制度を掲げ、多くの皆さまから設立会費をいただき、「社会に開かれた施設づくり」を始めた頃は、岩見さんには長野県内の知人はわずかでした。それが、知り合いが知り合いを紹介して、人の輪が広がっていきました。当時の岩見さんは、時間があれば毎日机に向かい、誰かしらに礼状を書いていました。こうした取り組みが今日を築きました▼詩づくりの仲間の紹介で真田町との関係ができ、町の心ある人たちが力を貸し、行政や地域の人たちを動かしました。土地の取得、町内ほぼ全戸の会費集め等、多くの人のつながりがありがね学園を誕生させました▼開所した後も、日赤奉仕団(婦人会)による月二回のボランティア活動、グリーンスタンプ・ブルータップ収集運動(全国から金額換算で三〇〇万円以上が寄せられました)、毎日出掛けた地域清掃活動、薪の材料集め、養鶏のえさ集め等々、枚挙のいとまもないほどに地域との交流が続けられました。中学生、高校生のワークキャンプなども盛んに行われました▼個人がどんなに頑張っても、持っている力は有限です。しかし、人のつながりによる力は無限です。人とつながることで、利用者さんが変わりました。職員が変わりました。事業所が変わりました。そして、地域が誰かが大切にされる街に変わりました。これからも人と人のつながりを大切にしたい歩みを続けていきます。(あ)

「かりがねへの想いと 生きるということ」

NPO法人 シーズネット代表
(かりがね学園 初代園長) **岩見 太一**

余命の宣告を受けて

私が暮らす札幌市は人口190万人で、平成22年には14000人ほどが亡くなり、内2300人ほどが警察の検死を受けた異状死ですが、その内7～8割が孤独死と言われています。誰にも看取れないで亡くなっているのです。また高齢者の生活では、万引きやゴミ屋敷（分別が難しく出せない）等の問題が頻繁に起こり、孤独のためにおしゃべりする人形を買い求めることなどが、孤立した社会現象の象徴となっています。そんな背景が「齢をとってからの生きがいづくり」を目指して、私が10年前に立ち上げたシーズネットの活動につながっています。

70歳を過ぎて、そんな活動をしながらもゆっくり旅行でしよう。と考えていた矢先に、ガンに侵され手術を受けました。しかも昨年1月にガンが転移していることが判明し、医師からは余命2年という宣告を受けました。病気そのものよりも、死の宣告を受けたことで精神的に落ち込み、夏には鬱（うつ）になりました。自死を考えたこともありました。死に場所を求めてさまよったときもあります。幸いなことに、妻や友人、そして精神科の医師に相談して薬を処方されて改善が図られました。

その時にハッと気づいたのは、救われて生きようとしている背景にあったのは、「人のつながり」であり、①人はひとりでは絶対に生きられない、②人は人とのつながりで生きている、という実感でした。そして同時に、自分の過去を振り返りました。それまで「かりがね」のことを思いだすことはあまりなかったのですが、その時真っ先に思い出したのが、かりがね時代の人のつながりでした。

かりがねへの道

かりがね学園（現ライフステージかりがね）をつくる際に、①施設をどうつくったらよいのかというプロセスと、②

つくった後の運営をどうするかについて考えました。つくるのは多くの人に関わっていただきました。42都道府県の6500余



名の会員から3500万円余、その内当時の真田町ではほぼ全戸の2566戸で1260万円ほどが集まりました。それを基に当時のかりがね学園が誕生しました。施設を立ち上げるのに、全戸がお金を出してくれた市町村はほとんどないだろう、と今でも思っています。

その後の運営は、当たり前の人間らしい生活を目指しました。特に、昭和56年から取り組んだ曲尾ハウス（ケアホーム、グループホームの前身）では、それぞれが役割を持って暮らす実践をしました。利用者さんは、それぞれが掃除、料理、風呂焚きなど自分の能力に応じて役割を持つことで存在感が持てるようになりました。自傷行為を繰り返していたある利用者さんが、曲尾ハウスで暮らすようになり、自傷行為がぴたっと無くなったことを通じて、役割を持つことの重要性を教えられました。食器を割れる陶磁器にしたことや、ボランティアを受けるだけでなく自分たちもボランティアをすることなど、原点は「自分が利用者だったらどうしてほしいのか」でした。

地域家族の提唱

現在は、少子高齢化の進行を含めて親族での介護が難しくなっています。また、介護保険等の福祉制度によって人を支えていく仕組みも、人材や財源の問題を考えると大変な時代がやってくるように感じています。そこで私が提唱しているのが、「地域家族」です。

今の孤立社会を打破して人と人がつながる仕組みを作り、気の合う人との暮らし、居場所づくり、存在感のある地域家族をつくっていききたい、そういった中で看取りボランティア、傾聴ボランティアを育成したいと思っています。命の続く限りこの取り組みをしていきたいと考えています。

その結論に至った原点が無から有を生んだかりがね時代に労苦を共にした職員、ボランティア、そして地域の人々との結びつきでした。

NEWS

風の工房 増築スペース完成

風の工房の敷地内に、個別スペースでの活動ニーズがある方を対象にしたスペースが建設されました。これまでアート活動やギグと呼んでいる個別活動をされている方のスペースは、同じ建物の中で一緒に行なっていました。個々に活動をする場所としては手狭になってきていました。これから、新しい棟ではより個別活動に重点を置き、利用される方が穏やかに過ごせる場所として活用していきたいと考えています。



OIDEYOハウス 増築スペース完成

OIDEYOハウスの敷地内に、新しい作業場が建設されました。OIDEYOハウスで栽培した野菜やりんごを乾燥していきます。安心・安全をモットーにスライス、パウダー、丸ごとドライフーズを製品にしていきます。たくさんの可能性を持った加工場になるはず、、、工賃UP!!に向けて利用者さんと共に力を合わせていきます。



SHOP

楽市楽農で頑張ってます!希咲館

上田市内から浅間サンラインを軽井沢方面に向かって、東御市に入ってもなく、3つ目の信号を過ぎると右側に見えて来ます。 アップル運輸さんが運営する「楽市楽農」。地域の農産物や特産食品(ご奉仕価格のハムやソーセージも)を始め、近隣の福祉事業所と上田養護学校高等部の製品も販売しています。もちろん OIDEYO ハウスの製品も! そして、月曜日から金曜日の10時から3時まで、希咲館から販売のお手伝いに、3人のメンバーが交代で店頭に立ちます。旬の野菜、山菜がいっぱい!花の苗や薪も販売していますよ。営業時間は、午前10時から午後5時30分まで 土日祝日も営業!是非お出かけ下さい。



この町、どの町
どこへ行こう?

O・DE・KA・KE

探検隊!

第12回

OIDEYOハウスの竹炭商品シリーズ

“化粧石鹸『真田の香』” & “蒟蒻スポンジ『PIKA炭』”。

界面活性剤不使用・天然素材・地元発商品に協賛頂き、委託販売にご協力下さっている美容室・理容店があります。今回の ODEKAKE 探検隊は OIDEYO ハウスの商品営業メンバーが隊員となり、日頃お世話になっているお店を感謝の気持ちを込めてご紹介したいと思います。



サロン・ドKAYAMA

<担当/香山様>

〒386-0005 上田市古里1504-9
TEL.0268-27-0397



貸衣裳マナ美容室

<担当/長谷川様>

〒386-0041 上田市秋和488-15
TEL.0268-26-6166

6月15日～8月15日までの期間、『有料ヘアケア』&『化粧石鹸“真田の香”』をご購入頂いた方に、もれなく『竹炭入蒟蒻スポンジ“PIKA炭”』を1個無料サービス! 5店舗、どのお店でもキャンペーン実施いたします。是非みなさま、クーポン券を切り取って上記のお店にODEKAKE 下さいませ♪



ヘアショップナカザワ

<担当/中沢様>

〒386-2203 上田市真田町傍陽588-1
TEL.0120-14-7930
0268-75-3411



カットルームWood stock

<担当/竹島様>

〒386-0155 上田市蒼久保1335
TEL.0268-35-3572

DEPT CREATIVE CUT

カットルームWood stock2号店

<担当/竹島様>

〒386-0016 上田市国分1-1-5
TEL.0268-22-1778

竹炭入蒟蒻スポンジ
“PIKA炭”
1個無料サービス!

6月15日～8月15日まで

点線でクーポン券を切り取って
上記のお店でご利用下さい。

平成24年度職務分担表

1. 理事長 宮下 博一

総合施設長(副理事長) 小林 彰
事務局長(常務理事) 塚田 弘人

2. 事務局

事務局長 塚田 弘人
主任 遠藤 良和(現場兼務)
事務局員 小堀 成子、西 由美子、
三井まゆみ(共同生活サポート兼務)
高橋 慈子(相談支援兼務)

3. ライフステージかりがね

施設長 小林 彰
主任 津田 直樹(法人統括主任)
主任 三井 千愛
主任 唐木 昭(委託訓練兼務)
サービス管理責任者 三井 千愛
リーダー 室木 一佑、清水 栄紀、滝澤加奈恵
スタッフ 小林 千春、堀入由香利(希咲館兼務)、倉石 秀美、
高寺のどか、杉浦あかり、長 侑、一之瀬尚美、
茅野 浩子、平澤 陽子、北澤 栄子、
(遠藤 美香 10月より)
志賀 洋子、坂口みゆき、滝澤 有季、
山浦 瑠美(洗濯)、唐沢 喜代(朝食支援)、
箱山 照夫(朝食支援)、竹田 淳一、関谷 浩行、
中村 孔稀、長 竜平、和久井翔太、宮澤 貴、
重田今朝道、奈良 司、小林 勝美、小林 裕幸

(医療・食事)

医療 飯島 理佳、池内真由美
食事 小林 千春(現場兼務)

4. アトリエFUU

所長 保母 和子 アドバイザー 藤田 敏彦
所長代理 工藤 淳
サービス管理責任者 工藤 淳
リーダー 大塚 秋彦 医療 金井 一美
スタッフ 的場真那美、垂見 美雪、堀内 文康、関 小百合、
安東 妙子

5. 風の工房

所長 半田 正直
主任 武捨 和貴
サービス管理責任者 半田 正直
リーダー 黒岩 友香 医療 横沢千賀子
スタッフ 小松 静、坂口 祐紀、宮坂 達平、小山 達也、
佐藤ひとみ、金井真知子、小林 治蔵(送迎専門)

6. OIDEYOハウス

所長 竹内 洋一
統括リーダー 太田 雅之
サービス管理責任者 竹内 洋一
リーダー 佐納 良裕 医療 池内真由美
スタッフ 室木 美奈、佐納 良裕、三井 俊哉、長谷川亜由美、
山崎 功、志野 和美

7. 希咲館

所長 小林 彰
所長代理 沼沢 成一
統括リーダー 坪田 理
サービス管理責任者 沼沢 成一
スタッフ 水野 一彦、井出恵里子、小林 左和
堀入由香利(ライフステージかりがね兼務)

8. 共同生活サポートセンター

所長 塚田 弘人
主任 茅野 美咲
サービス管理責任者 茅野 美咲、堀内みな美
リーダー 堀内みな美
スタッフ 三井まゆみ(事務局兼務)、岩松恵里奈、土屋 麻衣、
小林 良子、北澤 静江、山浦 貴志、岡崎 慎一、
小林 君雄

食事作り 上原日東子、田中 勝子、高寺 明美、宇仁 早苗、
三井由美子、加藤由美子、岡澤美弥子

9. 在宅支援センター えーる(重度障害者等包括支援事業を兼ねる)

所長 竹井 達郎
主任 荻原 恒平 統括リーダー 古平 卓郎
サービス提供責任者 荻原 恒平、古平 卓郎、水上 直輝、
西沢 泉
リーダー 市村 友一、本多 将之、小田切玄和、前澤 知里
スタッフ 堀内 翔一、馬場 大輔、的場 真、大池 聡、
荻原 光規、菊地 剛、松井 良伸、安田 剛、
中澤 泉、森島 優典、向山江身子、芹澤ゆかり、
出浦 友里、村上はるか、松井 彩華、青木 妙子、
竹重 光恵、坂口ゆう子、相馬 律子、金沢 綾

10. 相談支援事業所 つつじ

所長 小林 彰
統括リーダー 小林 千秋 (アドバイザー 沼沢 成一)
スタッフ 高橋 慈子(事務局兼務)

11. 地域活動支援センター いこいの家

所長 半田 正直
リーダー 山崎まゆみ
スタッフ 佐々木良太、(安東 妙子)

12. 上小園域障害者総合支援センター シェイク

所長 向後 泰雄(主任就業支援ワーカー)
リーダー 今井 仁樹(就業支援ワーカー)
スタッフ 高橋 輝男(生活支援ワーカー)

圏域相談支援アドバイザー 小林 彰

白井包明さん逝く

3月7日の午後、ライフステージかりがねの利用者さんである、白井包明さんがお母様に看取られながら入院中の病院にて逝去されました。包明さんは開設当初から30年近くかりがねで生活され、私が始めて担当を受け持たせて頂いた利用者さんでした。嬉しい時に顔をクシャクシャにして笑う顔、几帳面に洋服・布団をたたむ姿、シャワーを嫌がり怒った顔、お気に入りの回る玩具、ブランコ、などなど。数えきれない程の思い出を一緒に過ごさせていただき、本当にありがとうございました。安らかに眠りください。(坪田)



運営会員

会員の皆様、ご協力ありがとうございます。

※敬称略させていただきます

寄贈物品

(株)知足堂 林清弘 小林裕幸 立正佼成会上田教会 塩沢
漆原保子 小林彰宏 山極薬局 岩井屋

以上 コモスイ 消化器 牛乳パック 菓子 雑巾 衣類
紙おむつ 毛布 シーツ他

寄付金

日本興亜おもいやり倶楽部 小林彰 (株)アップル運輸
山崎寿雄

合計 285,900円

2011年度 運営会員ご入会者

(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

■長野県 西澤勝典 小林敦子 中沢節 荻原隆雄
小宮山里 小林迪子 小宮山悟 小林正人 池田勝美
松沢征太郎 町田重人 高津正實 須田美香
小川原泰代 和泉潤一 塚田弘人 内海洋子 荒井幸枝
清水俊治 秋山雅春 宮入久与 小林彰 林清弘
甲田啓子 宮沢栄一 若林喜久雄 小林典子 大島徳之
深井璋子 大久保一海 宮島恒子 大田耕一 中沢久美恵
前島ミエ子

花岡秋子 宮島常男 秋山雅春 津田直樹 草野澄隆
相澤喜世子 土屋清二 日向よ里子 藤林昇 小林功子
関由紀子 浅倉俊樹・孝子 宮下博一 堀内仁 宮崎正三
タバレス・エドアルド ■東京都 女学院宗教部
女子学院JG会 西脇正雄 ■大阪府 荻原初江
■大分県 藤澤久子

運営会費

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	会員数 (名)	会費 (円)
長野県	241	1,126,000
北海道	0	0
東北地方	1	10,000
関東地方	5	226,000
中部地方	3	9,000
北陸地方	3	25,000
近畿地方	1	2,000
中国地方	0	0
四国地方	0	0
九州地方	1	5,000
合計	255	1,403,000

新入職員紹介

(五十音順)



杉浦 あかり



奈良 司



松井 彩華



宮坂 達平



和久井 翔太

ライフステージかりがね 和久井 翔太

はじめまして。今年度よりかりがね福祉会の職員とならせていただきました。まだまだわからないことだらけですが、施設長をはじめ先輩方のお言葉をしっかりと胸に留め、1日も早くかりがね福祉会の福祉に貢献できる職員になれるよう切磋琢磨していきます。どうぞよろしくお願い致します。

編集後記

みなさま、こんにちは。お元気ですか。いつも「季刊・かりがね」を手にとっていただき、ありがとうございます。

今号より、編集委員をさせていただくことになりました。私は、雑誌や絵本が好きでよく見ます。楽しみ方はそれぞれあると思いますが、私の場合は目から入ることです。装丁や写真、絵などです。そして、もちろん内容です。気に入った本や雑誌、絵本に出会って頁をめくっているとそれだけで本の世界に入って、豊かな気持ちになれます。目がよるこんでいます。すると、心もよろこんでいます。明日に向かって元気が出ます。そんな、みなさまによるこんでいただけの誌面を、お届け出来ればと思います。よろしく願い致します。(小山)

KARIGANE GALLERY

かりがねギャラリー

「境内アート」

去る、4月21日（土）22日（日）信州小布施町の「境内アート」に参加いたしました。境内では、ちょうど桜が満開で色をそえていました。

今回は、風の工房の皆さんで描いた絵や織りをパッチワークにして、入り口にかけました。

とても目立って、会場全体を引き立てていました。ほかに、Mさ

んの刺しゅうやクラフト、Uさん、Nさんのシール作品、あおだまなどの雑貨販売。ワークショップでは、親子であだまつくりを楽しまれていました。さらに、投票により「アート部門優秀賞」に輝き、『おぶせミュージアム・中島千波館』で1週間、展示させていただきました。



手作り木製キーホルダー・マグネット

在宅支援センターえーる（重度障害者等包括支援部門）の利用者さんが作る木製製品にキーホルダー・マグネットが登場しました。手のひらサイズの、小さくてかわいいキーホルダーとマグネットです！



○木製キーホルダー・マグネット 1個
..... 200円

問い合わせ先

在宅支援センター えーる
（重度障害者等包括支援部門）
TEL・FAX (0268) 72-8022
担当 荻原

社会福祉法人かりがね福祉会本部

〒386-2201 長野県上田市真田町長6430-1 ライフステージかりがね内 TEL.0268-72-3431 FAX.0268-72-4406
有線 2261 URL <http://www.karigane.or.jp/>

会員・読者の皆様からのご意見・ご感想お待ちしております。「機関誌編集委員会」までお寄せ下さい。